

山梨県総合農業技術センターで約10年の歳月をかけて育成した新品种です！
夏秋どりイチゴ「かいサマー」の生産開始

山梨県で穫れました！「総合技術普及センター」



Kai-Summer

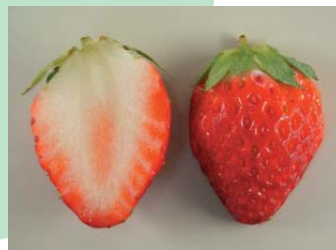
イチゴの需要は、生食用以外でもケーキなどの洋菓子業界から周年的にあります。イチゴの生産は一季成り性品種を用いた冬春期が中心で7月から10月の夏秋期は、暖地での果実生産が困難となりその需要の大半は輸入に頼っているのが現状です。

県内では、夏季冷涼な気候を生かし北杜市や富士河口湖町などの高冷地を中心に四季成り性品種を用い、洋菓子店を対象とした出荷や観光摘み取り用に夏どりイチゴの生産が行われてきましたが、これまでの品種は酸味が強く果実の形状も消費者の要望に十分に沿うものではありませんでした。

こうした中、総合農業技術センターにおいて、果実形状と食味がよい四季成り性品種「かいサマー」が育成され、品種登録されたことにより、本年度より各地域において「かいサマー」への品種の切り替えが進み本格生産が行われています。

平成8年度より夏どりイチゴの生産に取り組んできたJA梨北夏どりイチゴ部会では、新たな販路として県内の洋菓子店や観光施設内のレストランへのお荷を開始しました。それを利用した新たなメニューを提供するなど実需も県のオリジナル品種のPRに協力いただいています。

本格的に導入に向けてこれまで、各地域に実証ほを設け地域適応性などを検討してきました。今後、生産者や農協、県関係機関と連携しより安定生産に向けた技術確立を行い、生産拡大を図るとともに、新たな産地の掘り起こしを行い「かいサマー」の栽培面積の拡大に取り組めます。



●大きく実ったかいサマー



＜日本お菓子ばなし＞

吉田菊次郎先生の著書

「日本お菓子ばなし山梨の巻」で紹介されています！

名前の由来 ● 甲斐(かい)の国でしか食べられない、夏から秋に収穫できるイチゴだから。

新品种 ● 農林水産省で認められた新品种です。登録番号:第18012号

特徴 ● 酸味が少なく、糖度の高いイチゴです！

農業セーフティネット資金のご案内



果樹の作柄不良、収量減などによる一時的に売上減少、所得率減少となった場合、経営の維持安定に必要な長期運転資金(融資限度額300万円/8月19日現在年利1.0%(5年償還の場合))を借り入れることができます。また、認定農業者で、一定の要件を満たす場合、予算の範囲内で、実質無利子になるまで利子軽減措置を受けることができます。

● 詳しくは、最寄の県農務事務所、日本政策金融公庫甲府支店 TEL.055-228-2182へご相談ください。

(注) 審査の結果により、ご希望に添えない場合がございます。

Safety net